



環境省シンポジウム

気候変動を踏まえた 脱炭素社会の実現に向けて

日時： 令和2年2月8日（土） 14:00～16:00

会場： 広島国際会議場国際会議ホール「ヒマワリ」（B2F）
（広島県広島市中区中島町1-5）

主催： 環境省

後援： 中国財務局、中国四国農政局、近畿中国森林管理局、中国経済産業局、
中国地方整備局、中国運輸局、中国市長会、中国5県町村会、
（一社）中国経済連合会、広島経済同友会、島根県・広島県商工会議所連合会

資料掲載先 <https://www.env.go.jp/press/107618.html>



気候変動を踏まえた脱炭素社会の実現に向けて

本シンポジウムでは、各地域における脱炭素社会に向けた政府以外のプレーヤーの先進的な取組を共有することにより、中国地方に豊富に賦存する再生可能エネルギー、森林資源、観光資源などの様々な地域資源の更なる活用を進めるとともに、気候変動に対して強靱な地域づくりを推進し、第五次環境基本計画において目指すべき社会像として掲げられた「**地域循環共生圏**」（地域の活力を最大限発揮し、自立・分散型の社会を形成することで、環境問題のみならず経済・社会課題の同時解決を目指すもの）の創造につなげていくことを目指します。

プログラム

14:00~14:05	主催者挨拶	環境大臣 小泉進次郎（ビデオメッセージ）
14:05~14:15	来賓挨拶	一般社団法人 中国経済連合会会長 荻田知英氏 中国市長会会長（岡山県 美作市長） 萩原誠司氏
14:15~14:20	環境省からの政策紹介	環境省 地球環境局長 近藤智洋
14:20~15:20	事例紹介	事例① 「自治体新電力「CHIBAむつざわエナジー」の地域資源を生かした防災エネルギー拠点づくり」 パシフィックパワー株式会社 代表取締役副社長 合津美智子氏
		事例② 「豊富な森林資源を活用したまちづくり」 鳥取県 智頭町長 寺谷誠一郎氏
		事例③ 「グリーンスローモビリティを活用した観光地域づくりについて～オシャレに「エコ」しよう!～」 広島県 尾道市長 平谷祐宏氏
15:20~15:50	有識者による意見交換	国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター長 藤田壮氏 山陽学園大学 地域マネジメント学部 教授 白井信雄氏 ファシリテーター：環境省 中国四国地方環境事務所長 上田健二
15:50~16:00	閉会挨拶	環境省 環境事務次官 鎌形浩史